

マンスリー・ハイライト 拝啓社長殿

マネジメントのための経営財務情報

第 651 号 この資料は全部お読みいただいて 2 分です。



テーマ：2024 年 IPO 市場の総括と 2025 年の展望

バックナンバー
はこちらから ▶

2024 年（暦年ベース、以下同じ。）の IPO 市場は新規上場会社数が 134 社（TOKYO PRO Market を含む、以下同じ。）と 2023 年の 124 社から 10 社の増加となりました。2025 年は足元 3 月末までの新規上場会社数（執筆時点での予定社数）は 26 社となっています。

市場別及び業種別の新規上場会社数の推移

【表 1】は市場別の新規上場会社数の推移を示したものです。2024 年はグロース市場への上場が 63 社と前年から 2 社減少しましたが TOKYO PRO Market への上場は過去最高となる 50 社となり、市場全体としては前年同様にスタートアップ市場への上場が多く見受けられました。一方で東京証券取引所の TOKYO PRO Market 除く上場廃止会社数は 94 社となり新規上場会社数 80 社に対し上場企業は初めての純減となりました。

【表 2】は業種別の新規上場会社数の推移を示したものです。2024 年は情報・通信業の上場が 2023 年の 47 社から 12 社減少し 35 社となりましたが、サービス業の上場は 40 社と、2023 年の 32 社から 8 社増加しました。

【表 1】

	2021	2022	2023	2024	2025
プライム※	6	3	2	4	1
スタンダード※	24	14	21	13	1
グロース※	91	70	65	63	13
TPM	13	21	32	50	10
その他	0	3	4	4	1
合計	134	111	124	134	26

【表 2】

	2021	2022	2023	2024	2025
サービス業	33	36	32	40	7
情報・通信業	53	37	47	35	9
卸売・小売業	7	11	15	17	3
不動産業	6	10	8	9	0
その他	35	17	22	33	7
合計	134	111	124	134	26

（注）2025 年は、3 月末までの新規上場会社数（執筆時点での予定社数）/TPM：TOKYO PRO Market

※ 2022 年 3 月以前の上場会社数は、東証一部はプライム市場、東証二部及び JASDAQ スタンダードはスタンダード市場、マザーズはグロース市場に含めて集計しています。

2024 年 IPO 銘柄の特徴～大型銘柄、承認前提出方式での上場、Fukuoka PRO Market の新設

2024 年は過去 5 年間でも時価総額順で上位に入る東京地下鉄(株)、キオクシアホールディングス(株)など含む初値時価総額 1,000 億円以上の大型銘柄 6 社が上場しました。なお、キオクシアホールディングス(株)は国内初の承認前提出方式（上場承認前に有価証券届出書を提出し必要な手続きを早期化する方式）を採用しての上場となりました。また、福岡証券取引所においては、新たに特定投資家等（プロ投資家）向けの Fukuoka PRO Market が新設され、2024 年は 1 社新規上場しました。

お見逃しなく！

2025 年 1 月 22 日に東京証券取引所から「グロース市場の機能発揮に向けた足元の対応」が公表されています。グロース市場の上場会社は、高い成長可能性を実現するための事業計画及びその進捗状況を開示し、投資者から評価を得ながら、企業価値向上に積極的に取り組むことが期待されていますが、時価総額が低空飛行を続ける企業が多い状況が続いていることから、投資者からは、情報発信のより一層の充実が必要との指摘が見られています。上場準備会社においても、新規上場時の開示においては上場後の成長戦略に照らして、IPO をどのように活用しようとしているのか、その目的について記載のうえ、積極的に投資者に示していくことが期待されている点に留意する必要があります。